

阪南小学校区教育協議会 -はぐくみネット-
2008年度 アンケート回答
〈その2〉

昨年、『阪南小学校区教育協議会-はぐくみネット-』（以後 はぐくみネット）で実施させていただいた保護者、教員・職員、地域の皆様へのアンケートの裏面で『ご意見、ご感想がありましたら、ご自由にお書きください。』と、ご質問させていただきまして、多くの方々からメッセージを頂戴しました。当初は、はぐくみネット内の資料とさせていただくつもりでしたが、地域、保護者、教員・職員の方々の思いや意見、見方を知っていただく事が、大事な明日に繋がるのではないかと考え、この冊子になりました。ただ、特定の個人を傷つけるものは、省かせていただきました。ご了承願います。

地域

- 友達感覚の先生が多すぎる。これでは躰が出来ない。
- 一人ひとりが違って当たり前といわれるが皆を同じ定規で計りたがる傾向はまだ多い。
- 担任の先生一人では無理（親すら自分の子1～2人育てるのは大変）
- 子ども達のことばかり言わず、その子ども達を育てている親の教育がもっと大切。
- 税金の不適切な使い方が暴かれ、非常に腹立たしく思う。そんな使い方が出来るほどお金があるなら、少しでも多くの予算を教育にかけろべき。これからの世界を背負っていくのは今の子ども達、その育成に最大限の努力をしないで一体この先何が出来なのか。
- 学校の成績が良いだけではだめ、いろいろなもの見方考え方を身につけ、自分で物事を判断する能力を養ってほしい。
- 今時、知らない子どもに話しかけると、変な目で振り返られる変な世の中になった。困ったことがあれば声を掛け合える阪南地区にしたい。
- 声をかけようか迷っている時、子どもの方からあいさつしてくれ、すがすがしい気持ちにさせてもらえた。どこの子か知らなくても阪南小学校区の子どもは校区内で守りたい。
- 親は子どもに甘すぎる、叱らない。これでは家庭でしつけは出来ない。
- 保護者も地域の一員、保護者と地域を分けずに子どもから高齢者までの交流が大切。
- 校長先生の考え方で各学校で随分相違があると思う。特に定年前の校長はことなかれ主義にとらわれ、改革・冒険を好まず消極的。
- 24時間営業のスーパーやコンビニへ、夜中に子ども達の出入り、一緒に連れて入る親、明日の学校の事を考えているのか？
- 辛抱、我慢、努力、忍耐、これ等の言葉は今の若夫婦、子どもにとって死語になりつつあるのでは。
- 近所とのふれあいも、子どもが公園で遊ぶ事も今は少なくなり寂しく思う。
- 近所、町内で大人も笑顔であいさつをするつきあいを大切にしたい。
- 親自身が自己中心的だから子どもも当然そうやっていく。「人のため」「思いやり」の欠如は学校の成績だけでランクづけする大人達の身勝手からだろうか。

- 朝を中心に通学路に立ち、子ども達を見守っていただいている方々には、とても感謝している。特に今年には人数も増え、沢山の方々が見守ってくださるので親としてはとても安心出来る。その反面、子ども達は、あたりまえのように、通り過ぎている。我が子も含め、きちんとあいさつが出来るようになる事が大切。
- 地域の人が冷たく、外遊びをさせると苦情を言われたり、嫌がらせをされたりする。
- 子育てしにくい。
- 自転車で学校に行けるようにしてほしい、また、禁止するなら皆で守る、自分だけはOKというのはやめてほしい。
- 学校周辺の住民とのトラブルをなくしてほしい。もっと温かい気持ちで受けとめてほしい。
- 何が必要か、など考えたこともなかったが、このアンケートで考えさせられた。必要なものより不要なものが多い、恥の文化を取り戻すべき。
- PTAも無駄な活動
- 支出が多いし、はぐくみネットもメール安全連絡網の整備をするでもなく、ごく一部の参加できる人だけの活動とを感じる。
- PTAの役員の方々にはいろいろなことをされていて大変感謝しているが、少し閉鎖的に感じ、親近感がない。内々でしている感じ。協力したいが、関心はあるのにどう参加すればいいのか分からない人も多いのでは？
- PTA活動も一部の人で団結していて、助かるのだが、自分が役員になって活動しようと思っても、かたまって行動されると中に入っていくにくい。どんな活動をしているのかも分かりにくい。
- 広報紙にお金をかけすぎ、もっと安い紙でいい。
- このアンケートは何のため？
- HP中心の情報公開が、それを出来る家庭、出来ない家庭の差を生んでいる。インターネット、ゲーム、携帯が子どもの中心となり、交流のない世の中、一から手作りを大人が心がけないと……コンピュータが必要なのはビジネスだけで十分では？HPでの輪のつながりは犯罪のもとだとニュースでも言われている。手抜きの教育が不良を生み出す。子どもは大人より頭がいい、もう少し大人らしく生き抜く力を話し合おう。
- コンピュータのない家だってある。これからは具体的な目的・目標・結果をくまなく印刷でほしい。
- 毎朝子ども達のために通学路に立って見守って頂いている地域の方には大変感謝しているが、中には挨拶を返してくれない方がいて嫌々されているかと思った。地域で取り組んでもらいありがたいが、負担に思われているのでは？
- 挨拶をしっかりする子どもは犯罪に巻き込まれにくいとTVであった。逮捕された犯人が、挨拶をしない子どもは声を出されることが少ないと、あえて狙うそうだ。学校や地域の協力も必要だが、親が挨拶できる子どもに育てなくては。
- 阿倍野区ではいろいろな行事があり、家族で参加し楽しんでいる。学校付近でもこども110番や朝の巡視等、安全の配慮が行き届いている。地域の方にお世話になっているので、地域の一員としてできることがあれば協力していきたい。
- 子どもが幼稚園から学校という世界に入ることは大きな変化を迎えるとき。親も不安や心配が付きにくい。朝の挨拶やいんじゅんをしてふれあう校長や、自分のクラスの子を抱き寄せ挨拶する先生に安心したものだ。今そんな先生がいないのが残念だが期待したい。
- お楽しみ会で子どもだけでなく、先生も歌を歌い、自ら参加し楽しむ姿は素晴らしい先生がいるとホッとした。
- 今、家庭や地域でも恐ろしい事件がある。子どもだけで公園で遊ばされないのが現状。知っている子だけでなく、知らない子でも困っている子がいれば手を貸す。小さなことから始めていかなければ。どこの子にも「おはよう」「おかえり」の声をかけても、返事がないのが殆ど。知らない人とは話さない、と教えてることもあるだろうが、子どもらしくない子どもが多い。
- 物騒な世の中で大変。警察官が巡回していると安心感があるが、安心感でおわらず安心な町にしたい。
- 『叱る』ということに先生も大人も臆病になっている。子どもも叱られることに慣れていない。我が子は勿論、よその子でも悪いことをしていたら積極的に叱れる地域づくりができると犯罪も減るのではないか。

- 学校で今何があって、どんな問題が解決されたかもっとオープンにしてほしい。
- 祭りや地藏盆など昔からの風習で交流をもつ。
- 今の学校教育に対して不平不満を言い出すと道は閉ざされる。
- 自転車のスピードの出し過ぎは怖い。先日も急な飛び出しがあり自転車同士衝突し、激痛が走った。自転車教室などでもあれば注意してほしい。
- 大人も子どもも心がない。
- 子どもが対象の事件が多く、いい人ばかりでないことを上手に伝えているか心配になる。あまり警戒心ばかりになっても…。
- 教師が生徒に、又その親に気を遣いすぎだと思う。変わった親、利己主義や自己主張の強い親等もいるが、だからこそ教師がしっかりして毅然たる態度で子どもや親達に接してほしい。
- 先生方へのお願いだが、子どもの何気ないサインを大事にしてほしい。問題が大きくなってからでは遅いことも多々あると思う。
- 不都合な点もあるとは思いますが、家が近い者同士の集団登下校も良いのでは？
- 校門に必ず一人いて、外部の人の出入りをチェックする。我が子が安全と考えれば保護者他は不便な点を我慢すべき。校内に入れないことが一番簡単で最大の防御なのでは？
- 学校の清掃も保護者の力を借りても行き届くようにし、図書の本も修復に努め、徹底して大事にさせる必要がある。罰則や貸出禁止も考える。
- 一年から辞書や事典をひくことの楽しみを習慣づけるなど、特色のあることを導入し活性化しては？
- 男の子の暴力的な話しや、女の子の、のけ者にするいじめの行動等、低年齢化していると感じ、今後に不安を覚える。
- 低学年から子どものできる、できないを親がこだわりすぎて、今の子どもたちは大変だと思う反面、うっかりすると自分の子どもがおいて行かれる不安が常にある。
- 保護者もつ、学校や先生に対する苦情や意見を聞いてくれるところを設けてほしい。
- はぐくみネットがどのような組織か、どんな活動をしているのかよく知らないが、「学校」「家庭」「地域」を密接に結びつけて行こうという考えなら、もっと積極的に活動をアピールし存在感を大きくし、内容が理解できるようにしてほしい。その上で深く入り込み、浸透し、密接につなげる役割を担って頂きたい。
- いきいき活動に参加しているが、いつもTVを見ているようで、せっかく指導員がいるのだから、外遊びや昔遊びをしてほしい。
- 知育・体育・徳育は勿論、躰までも学校まかせ、事あらばクレームをつけ騒ぎ立てる親が横行し、手は動かさないが口は出す人が多くなった。子どもを注意されると憤慨する親も多々いるだろう。自分に代わって注意してもらえた、とは取らない。
- 親仲間の中でも子どもを巻き込んでしまう仲間はずれもある。子どもにいじめを教えるような大人がいることが現実。
- 携帯電話を持たせると子どもが…。我が家の方針として持たせない、よそはよそと説明した。学校の方針はどうか？携帯の持つ怖さを学校でも説明してほしい。
- 今の親は皆、疲弊している。子どもだけでなく親を支援するものを政府も考えてほしい。家も学校も限界にきている。
- いつも子どもには笑ったときと言っている。明るい笑顔は周りの人の気を良くする。自分も笑顔を絶やさないようにしている。
- 学力低下等の問題もあるが、人として、してはいけないこと、言ってはいけないこと、自分が嫌なことは他人も嫌だということを身につけ、周りの人達と優しい関係を築けるような人間になってほしい。
- 登校時の地域ボランティアへの働きかけや野外活動の企画など、子を持つ親にとって大変心強く頼もしく思っている。これからも活動をたくさんの人に知ってもらい広めていければと思う。
- はぐくみネットの地域行事を多くとってほしい。
- 家庭・学校・地域のコミュニケーションを密にするのは大前提だが、保護者と子どもが学校の行事に参加する、次に地域の行事などに参加し、PTA活動や、ボランティア活動などに参加する姿勢が大事。
- はぐくみネットが学校・地域・家庭各々からの代表の集まりなら、もっと中心に働きかければいい。今は“とりまき”に見える。現状を吸い上げ、組み立て直してそれぞれに指揮する、それぐらい大きな柱

になってもいいのでは？ダブって無駄になっていることないかとPTA活動して思う。

- ルールを守れない大人や、勝手な行動をしている人を阿倍野区内でもよく見かける。特に信号無視は多い。車も人を待たずに先に進もうとしたり、自転車もすごいスピードで走っている。まずは大人がきちんとして見せないと、子どもにいくら正しいことを言っても、結局は目で見ただけの手本にすると思う。
- 公園・広場・空き地など子どもが遊ぶ場所が無く、声がうるさい、ゴミをちらかすなど（子どもが悪いが）苦情ばかりで、家の中でゲームをするしかない状態だ。少子化のわりに子どもに対する許容範囲が狭すぎる。コミュニケーションがなくどこの子かわからないので“まあいいか”という気持ちが全く持てず、うるさいしかない現状。

- 最近の親はちょっとのことでするさい。自分の子が一番しか考えてない、みんなで育ててほしい。
- 早くから「仕事」ということに興味を持たせて「なにをして生きる人になるか」意識を持たせたい。好きな仕事につける＝何より幸せなこと。
- 学校が何でも平等にしすぎる。個性があって当たり前。運動会等、走りが早ければ一番でいいと思う。男の子に「さん」づけも違和感がある。



教員・職員

- 現在、全て学校に任せっきりで責任を押し付けてしまう社会情勢であり、学校の負担は相当なものと思われる。
- はぐくみの活動は、地域社会全体で子どもを育てていこうという意味ではこれからもっと大切である。
- 何かひとつ新しい行動を取ろうとすると、反対されたり抵抗されたりで新しいことにトライする勇気を、学校も家庭も地域もくじかれてる気がする。
- 学校は発信機能が昔から弱く、今学校で本当に起きていることが保護者、地域に伝わりにくい組織なので工夫したい。
- 学校の情報をもっと発信して、意見を聞き、それに答えるなど、開かれた学校作りに努める。発信していく為、情報を得、返すことが大切。
- PTAやはぐくみの頑張りにもっともっと共感し、その思いを伝えていく必要がある。
- 社会全体がもっとゆっくり、ゆったり余裕のある世界になることを願う。

